

平成29年10月度 定例自然観察会報告書

六甲山自然案内人の会

- ・実施日：平成29年10月14日（土）
- ・天気：午前中曇り、午後より小雨のち曇り
- ・担当：5班
- ・テーマ：秋の谷山川から天下辻へ
- ・参加人員：ビジター23名 会員21名 合計44名

- ・当初予定コース：神鉄谷上駅～丹生山縦走路～鉄塔～天下辻～神鉄大池駅
※天候不順及び縦走路不良により、鉄塔～天下辻以降を変更し、鉄塔から折り返し、神鉄谷上駅へ戻ることにした。

- ・配布資料：ルートマップ 植生一覧表
- ・タイム：

9：30	班分け 挨拶 事前説明
9：45	出発
12：20	鉄塔手前の路肩にて昼食
12：50	鉄塔までの植生を観察し、折り返す。
14：40	神鉄谷上駅（解散）

・概要

曇り空の朝にてどんよりした空気が漂い、雨を気にしながらの観察会となったが、水嵩の増した谷山川のせせらぎを聴きながら、秋を味わう。

往路で見たアケボノソウ(写真1)、ヤマジノホトトギス(写真2)、ツルニンジン(写真3)、センブリ(写真4)の花も、復路で再び見たときには、小雨に打たれて、往路とはまた違う美しさを湛えていた。

天候不順にて、ビジターさんは23名とやや少なく、当初4班に分かれていただく予定にしていたが、3班とし、それぞれの講師は1班—津村会員、2班—友永会員、3班—鳥居会員でスタートとする。

谷山川を右手に坂道を登りながらの観察を開始。ハゼノキ、トウコマツナギ、ツユクサ、シラキ、ゲンノショウコ、ハナイカダ、キガンピ、フジキ、オオコマユミ、ツリバナ、ケケンボナシ、ノグルミ、カラスノゴマ、フユザンショウ、シャガ、ミカエリソウ、ナンキンナナカマド、ホオノキ、ハリギリ、ノブドウ等を各講師の解説とクイズ+画像データ等の資料にて、五感を通して深く味わう。

今回の観察場所である丹生山地は有馬層群という地層の上であり、この山麓に多いと

される樹木として ホソバタブ、コショウノキ、タニウツギ及びオオウラジロノキの4種を観察。

植物と虫の関係を、イタドリ（イタドリマダラキジラミ）、コナラ（ハイイロチョッキリ）、ミカエリソウ（スギタニアオケンモン）、テイカカズラ（テイカカズラミタマバエ）をもって多面的に解説。

植物の活用を、作製したクサギの実で染色した木綿布、コウヤボウキの箒をもって手順を示しながら説明。

往路の休憩場所にて、谷上の花：ベスト10（私的見解による）として、1：アケボノソウ、2：カキノハグサ、3：ハンショウヅル、4：チゴユリ、5：ホタルカズラ、6：キカラスウリ、7：オカタツナミソウ、8：アキチョウジ、9：ヤブマメ、10：ガンピ、番外：シュンジュギクを提示するも、観察終了時においては、ベスト10が大きく入れ替わる結果（1：ヤマジノホトトギス、2：ツルニンジン、7：センブリ）となりました。

報告者 松本逸次





1



2



3



4